

ボンファイヤー

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

燃え上がる炎やろうそくの火を囲み、神秘的な炎を見つめながら活動を振り返ったり、自分の生活を振り返ることで、互いの心を開放しあい友情を深めます。

2 時期・時間・活動場所

4月～11月・1. 5～2時間

冒険広場上部、冒険広場下部、すりばち広場、見晴らし広場、つどいの広場

3 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
アンプセット（マイク・テープ使用可）、電源ドラム、CDラジカセ	マッチ、トーチ、キャンプファイヤーセット（食堂売店で購入可）

4 実施例

- 全体で一つの火を囲み実施する方法
- グループごとに火をつくり実施する方法
- 全体の火をグループに分火して実施する方法
- 野外炊飯の残り火にファイア用の薪をつけたして実施する方法
- 個人の火おこし体験からグループの火や全体の火へつなげて実施する方法

①語らいを中心にして、たき火を囲んでゆっくりと夜を過ごします（グループごと・全体）。

- 集合→火おこし→語らい→まとめ→消火→解散→後方づけ
- 火おこし→自由集合→語らい→自由解散→消火→後片づけ

②野外学習として自然を積極的に取り入れ、ゆったりとした時間の中で行います。

- 星空の観察、星にかかわる話、神話を取り入れます。
- 野外動物に関する話を取り入れます。
- ネイチャーゲーム（五感を使ったゲーム、夜の音を聞く）を取り入れます。
- 発達段階に応じた話を取り入れます。

③火と生活との関係に着目した活動を取り入れます。

- 野外炊飯→ボンファイヤー

④夜の神秘性を感じ取ると同時に野外生活における火に着目した活動を取り入れます。

- 野外炊飯→ボンファイヤー→ナイトハイク→ボンファイヤー

⑤テーマに沿って、考える時間として設定します。

- 全体の火（テーマの説明）→グループごとの火（グループの語らい）→全体の火（まとめ）

5 留意点

- ・ボンファイヤーには、定形がありません。プログラムの流れをふまえて、ねらいに沿った活動を考えてください。
- ・薪は、水に濡らさない・火をつけない・灯油をかけていない状態であれば返品が可能です。
- ・つどいの広場で実施する場合には、移動式の営火台を使用しますので、職員の説明のもと設置してください。
- ・火気が残っている場合は、その場を離れないでください。終了後必ず事務室にご報告ください。